

# 四日市市地域福祉に関するアンケート調査 結果報告書

令和5年8月  
四日市市

## 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>2</b>
1 調査の目的.....	2
2 調査の方法.....	2
3 配布・回収数.....	2
4 報告書の見方(注意事項).....	2
<b>II 調査結果</b> .....	<b>3</b>
問1 地域福祉を推進する上で市が実施する施策として重要な項目〔複数回答(5つ)].....	3
問2 四日市市のくらしで気になっていること〔複数回答].....	5
問3 項目別期待度〔択一回答].....	7
問4 地域活動団体が活動を続けていく上で必要な支援〔複数回答].....	11
問5 介護や医療が必要になったとき、地域生活で一番不安なこと〔択一回答].....	12
問6 地域の人びとの「つながり」のあるべき姿〔択一回答].....	13
問7 あれば助かると思う地域での助け合い〔複数回答].....	14
問8 あなたが知っている地域活動で、特色のあるものがあれば、お書きください。.....	15
問9 その他、ご意見があれば、お書きください。.....	15
《参考》アンケート配布機関・団体.....	16

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、地域で実際に事業所や団体などで活動されている人や一般市民に対し、四日市市での暮らしや地域活動に関することをお聞きし、地域における現在の福祉課題を把握することを目的に実施したもので、調査の結果は四日市市の地域福祉の推進に活用いたします。

## 2 調査の方法

- ①調査対象地域 四日市市全域
- ②調査対象者 地域福祉に関わる関係団体等（以下、「団体等」と言います）  
市政モニター「市政ごいけんばん」登録者（以下、「市民」と言います。）
- ③調査期間 令和5年4～5月
- ④調査方法 〔団体等〕調査票による本人記入方式、郵送配布・郵送回収による  
郵送調査  
〔市 民〕Web 調査

## 3 配布・回収数

調査種別	有効配布数	回収数	回収率	白紙回答	有効回収数	有効回収率
団体等	784 件	544 件	69.4%	0 件	544 件	69.4%
市民	447 件	210 件	47.0%	0 件	210 件	47.0%

## 4 報告書の見方(注意事項)

- ① グラフおよび表中の n 数(number of case)は、「無回答」や「不明」を除く回答者数を表しています。
- ② 調査結果(グラフおよび表中)の比率は、その設問の回答者数(n 数)を分母として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出し、小数点以下第 1 位までを表示しています。したがって、端数処理のため、回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合があります。
- ③ 複数回答形式(複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問については、その設問の回答者数(n 数)を分母として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が 100%を超えることがあります。
- ④ 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。

## II 調査結果

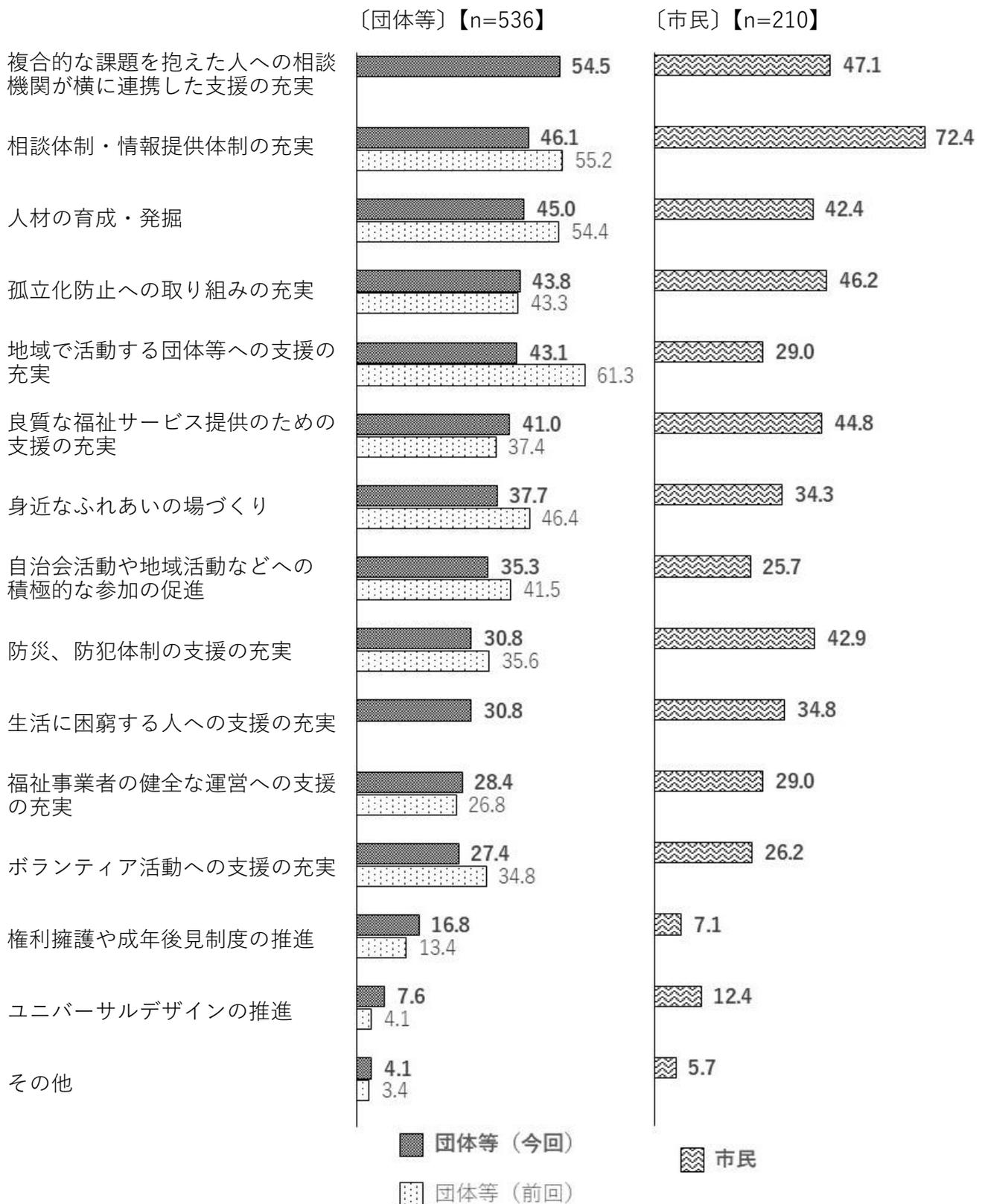
### 問1 地域福祉を推進する上で市が実施する施策として重要な項目〔複数回答（5つ）〕

地域福祉を推進していく上で、市が実施する施策として重要だと思われる項目については、団体等では「複合的な課題を抱えた人への相談機関が横に連携した支援の充実」が、また市民では「相談体制・情報提供体制の充実」が最も高く、団体等、市民の両方でこれらが1位、2位の回答となっています。

市民の回答からは、70%を超える人が「相談体制・情報提供体制の充実」を重要視されていることが伺えます。他にも、「孤立化防止への取り組みの充実」、「人材の育成・発掘」、「良質な福祉サービス提供のための支援の充実」についても、団体等、市民の両方で40%を超える回答を集めています。客観的に「孤立化」している人だけでなく、新型コロナウイルス拡大期に問題視された「孤独」と感じる人への支援が必要とされていると言えます。

団体等については、前回調査結果と比べると、選択肢の違いにより単純な比較はできないものの、前回1位であった「地域で活動する団体等への支援」が17.8ポイント下がっています。また、前回上位であった多くの設問のポイントも前回調査に比べて下がっていることから、今回新しく追加された設問である「複合的な課題を抱えた人への相談機関が横に連携した支援の充実」への期待感が伺えます。

こうした結果から、人材の育成・発掘や地域で活動する団体への支援を継続しつつも、困難事例に対する「複合的な課題を抱えた人への相談機関が横に連携した支援の充実」をはじめとする、地域福祉に関する相談体制や情報提供体制の充実を目指す必要があると考えられます。



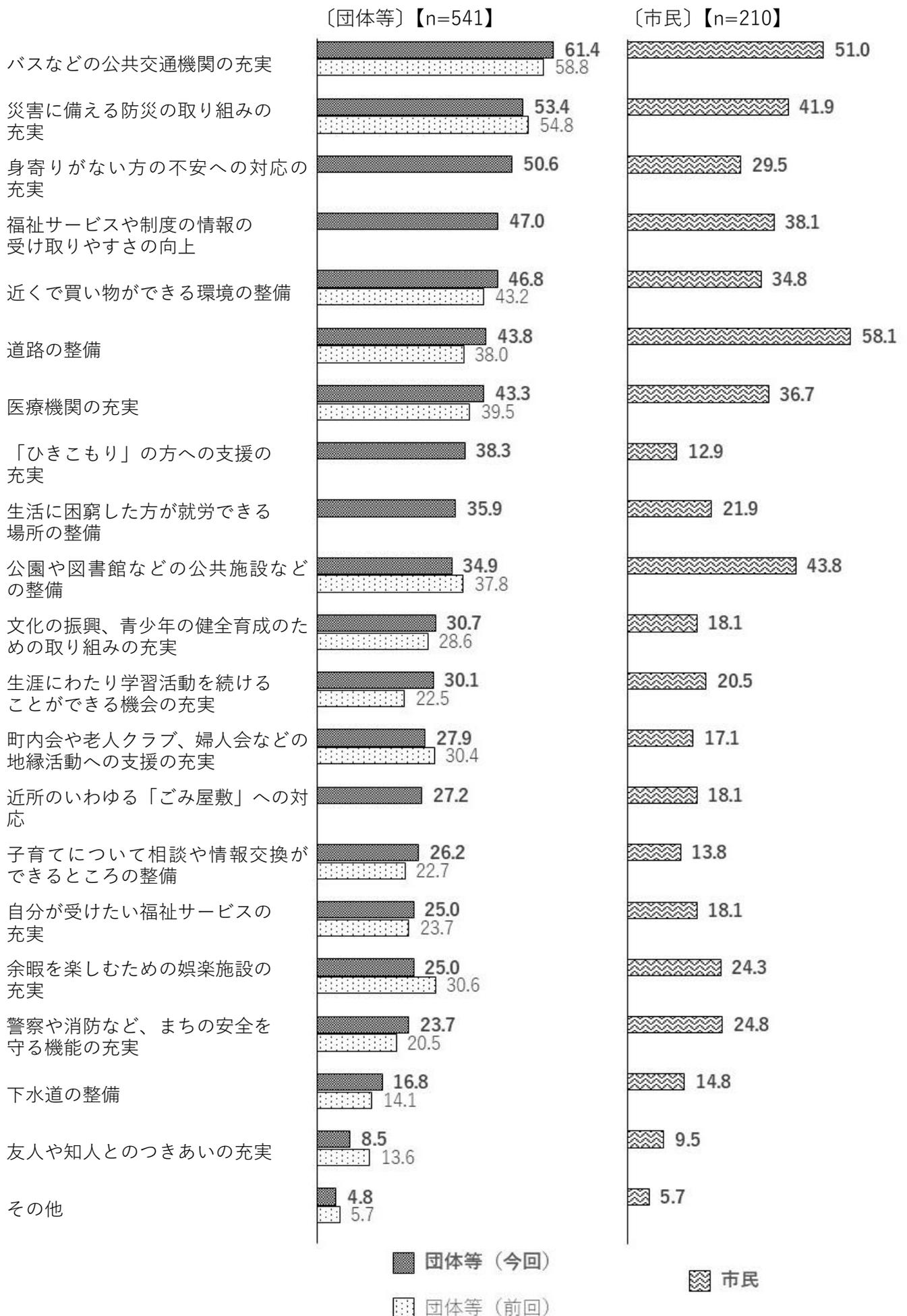
## 問2 四日市市のくらしで気になっていること〔複数回答〕

四日市市でのくらしで気になっていることについては、団体等では「バスなどの公共交通機関の充実」が、また市民では「道路の整備」が最も高いという結果となりました。また、団体等、市民の両方で、「災害に備える防災の取り組みの充実」は40%を超える回答を集めており、関心の高さが伺えます。

団体等の回答結果について、前回調査結果と比べると、選択肢が追加されているものの、大きく変化した項目はなく、前回調査で上位であった「バスなどの公共交通機関の充実」や「災害に備える防災の取り組みの充実」が今回も上位を占めています。

今回から新しく追加した設問である「ひきこもりの方への支援の充実」や「身寄りがない方の不安への対応の充実」については団体等と市民との回答を比較すると、団体等が20ポイント以上高い結果となりました。一方で、「道路の整備」や「公園や図書館等の公共施設の整備」については市民の方が団体等より高いという結果となりました。

こうした結果から、前回も上位を占めていた「バスなどの公共交通機関の充実」や「災害に備える防災の取り組みの充実」については継続して取り組む必要があります。併せて「ひきこもり支援」や「身寄りがない方への対応」といった福祉課題について、団体等と市民の認識に差が認められることから、既存の福祉の制度では支援が困難な人がいるという事実の理解を深めるため、情報提供や意識啓発を進めていく必要があると考えられます。

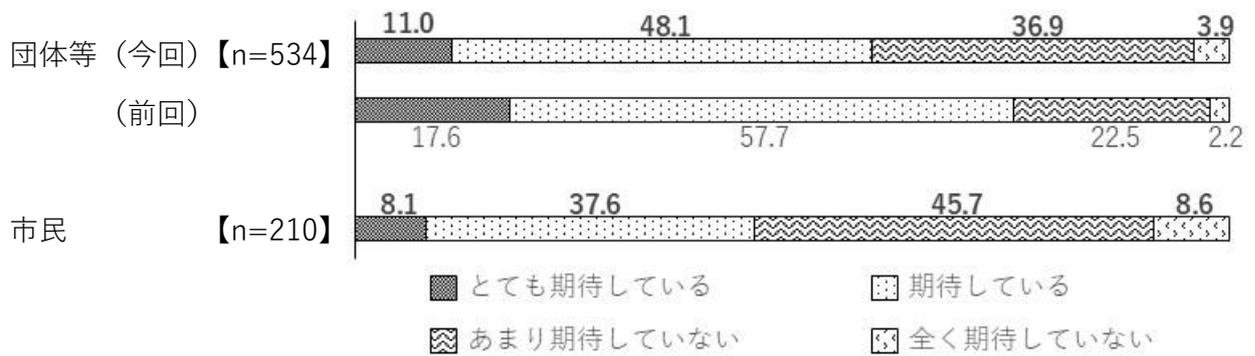


問3 項目別期待度〔択一回答〕

(1)近所の付き合いが増えること

「とても期待している」と「期待している」を合わせた『高期待度』の割合は団体等で59.1%なのに対し、市民では45.7%と低くなっています。団体等、市民の両方ともが、「とても期待している」は10%前後にとどまっています。

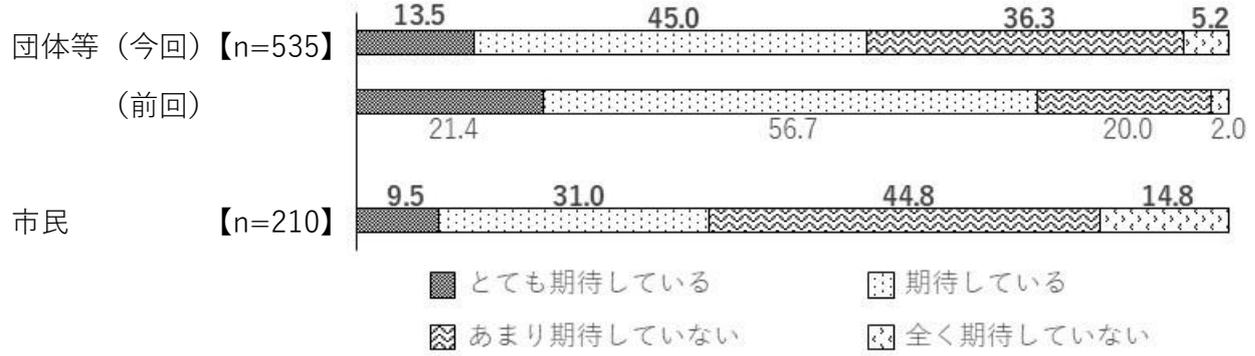
団体等について、前回調査結果と比べると、『高期待度』が75.3%から59.1%になり、16.2ポイントも下がっています。



(2)自治会や町内会の活動が活発になること

『高期待度』の割合は、団体等では58.5%なのに対し、市民では40.5%と低くなっています。団体等、市民の両方で、「とても期待している」は10%前後にとどまっています。

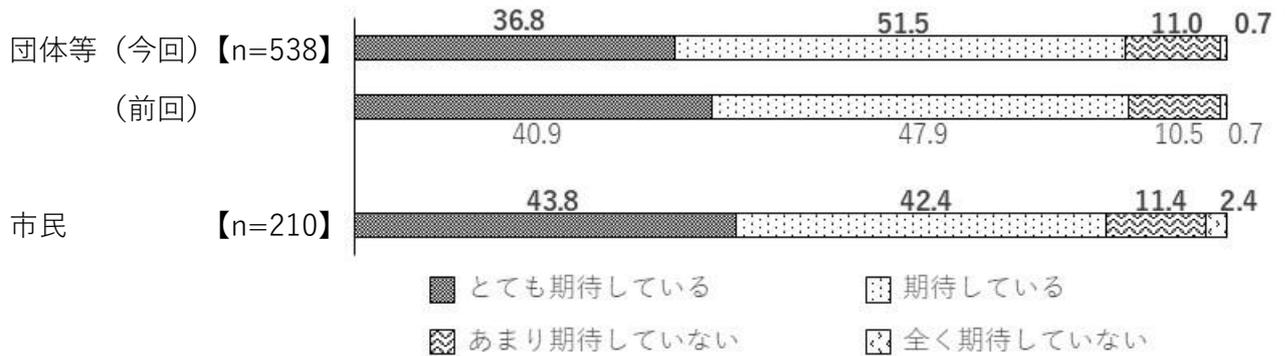
団体等について、前回調査結果と比べると、『高期待度』が78.1%から58.5%になり、19.6ポイントも下がっています。



(3)四日市市の産業や経済が発展すること

『高期待度』の割合は、団体等で88.3%、市民で86.2%と非常に高く、中でも市民の「とても期待している」は43.8%に上ります。

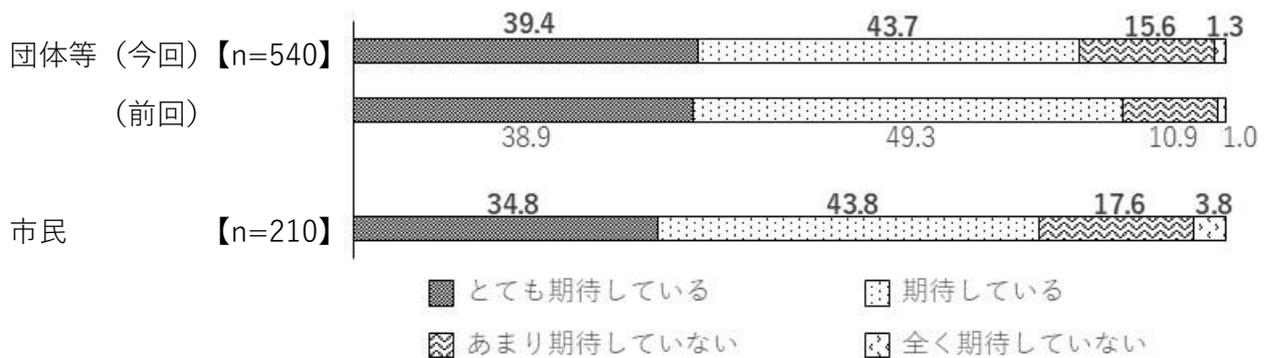
団体等について、前回調査結果と比べると、『高期待度』はほとんど変わらず、引き続き高い期待を示しています。



(4)地域で子どもが増えること

『高期待度』の割合は、団体等で83.1%、市民で78.6%と非常に高くなっています。

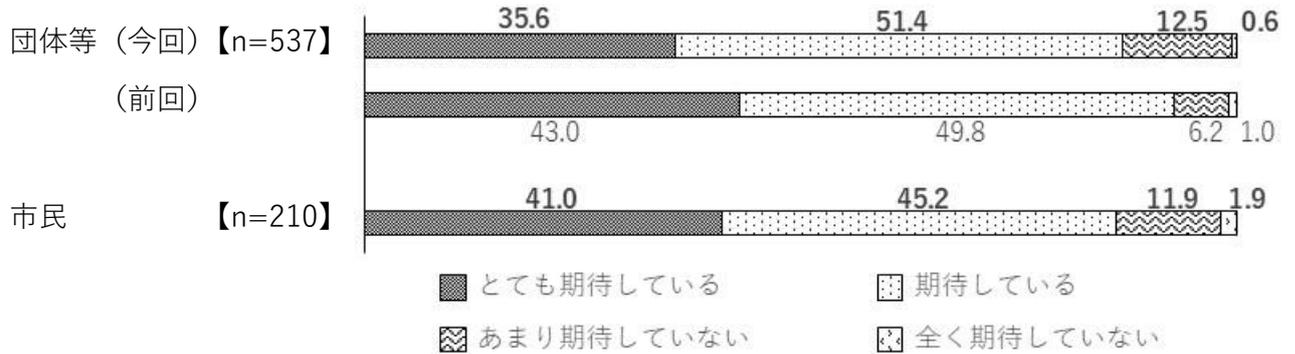
団体等について、前回調査結果と比べると、『高期待度』は88.2%から5.1ポイント下がりましたが、引き続き高い期待を示しています。



(5)若者の雇用の機会が増えること

『高期待度』の割合は、団体等で87.0%、市民で86.2%と非常に高く、中でも市民の「とても期待している」は41.0%に上ります。

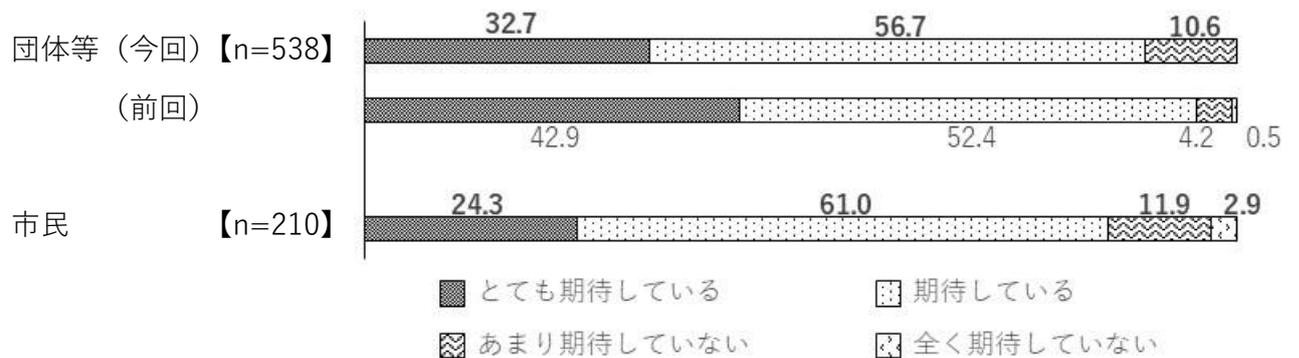
団体等について、前回調査結果と比べると、『高期待度』は92.8%から5.8ポイント下がりましたが、引き続き高い期待を示しています。



(6)地域で支援を必要としている人への理解が深まること

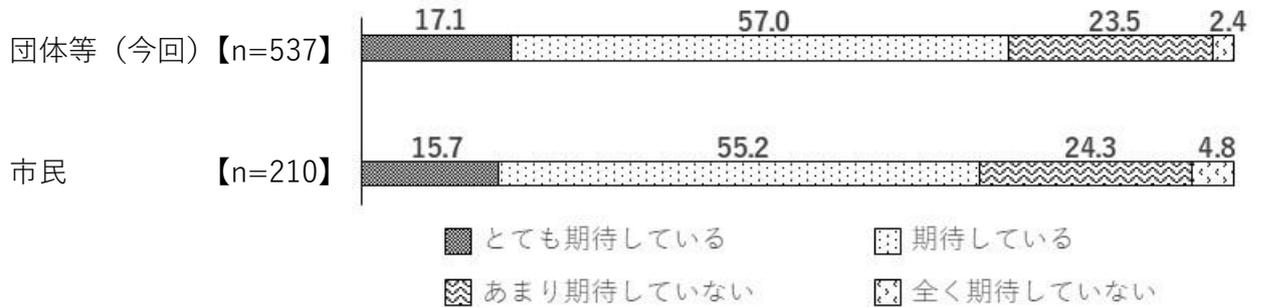
『高期待度』の割合は、団体等で89.4%、市民で85.3%と非常に高くなっていますが、市民では「とても期待している」は24.3%と、やや低くなっています。

団体等について、前回調査結果と比べると、『高期待度』は95.3%から5.9ポイント下がりましたが、引き続き高い期待を示しています。



(7)様々な団体や立場の方の交流が増えること

『高期待度』の割合は、団体等で74.1%、市民で70.9%と高くなっていますが、いずれの種別も「とても期待している」は15%あまりで、やや低くなっています。



「(3)四日市市の産業や経済が発展すること」、「(4)地域で子どもが増えること」、「(5)若者の雇用の機会が増えること」といった項目に関しては、引き続き高い期待が示されており、「(6)地域で支援を必要としている人への理解が深まること」や「(7)様々な団体や立場の方の交流が増えること」についても期待が示されています。

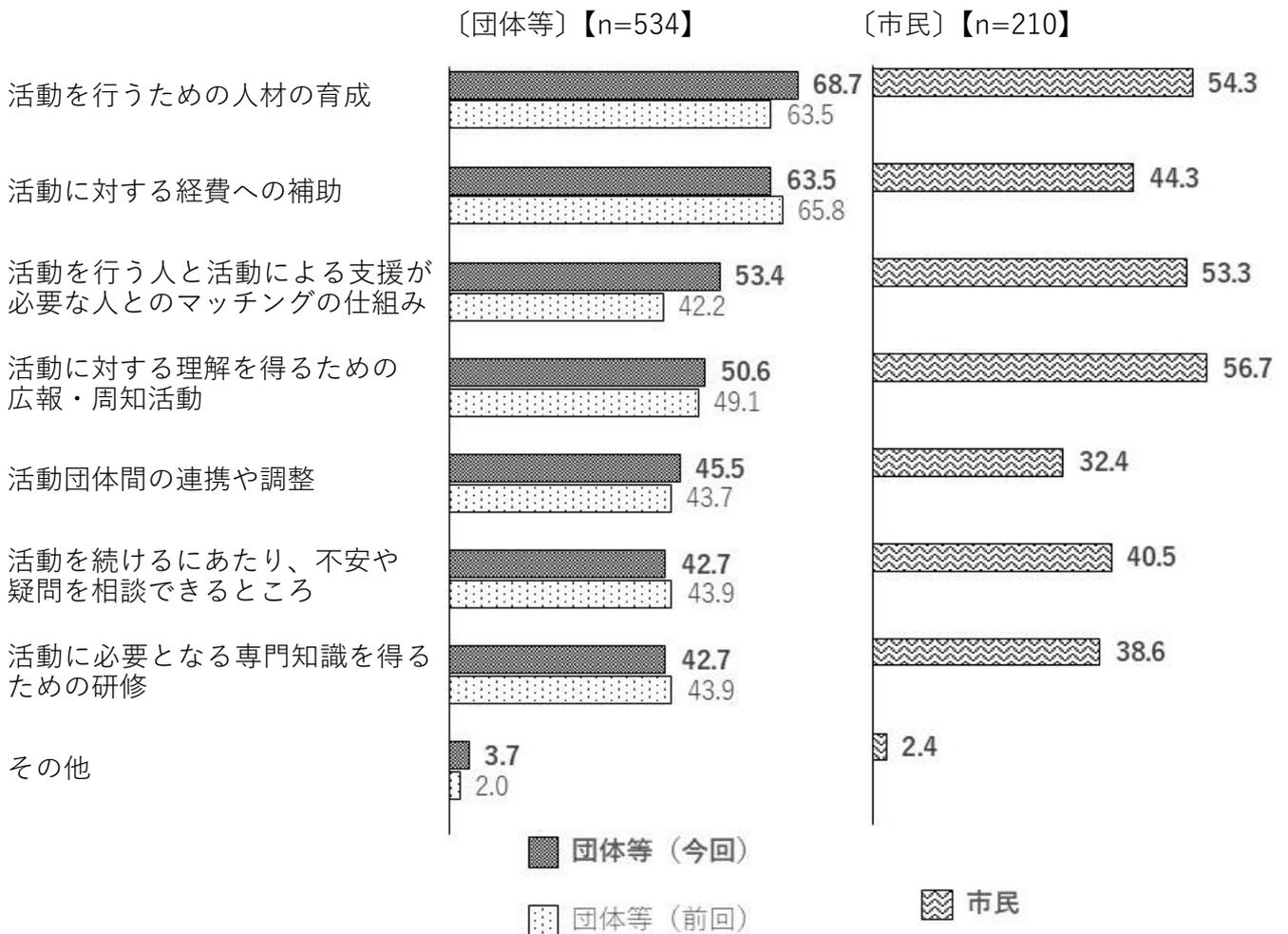
一方で、「(1)近所の付き合いが増えること」や「(2)自治会や町内会の活動が活発になること」といった地域のつながりに関することについては他の項目と比較すると団体等、市民ともに期待が低く、前回の調査結果からも大きく期待が下がっています。

こうした結果を踏まえて、団体等、市民共に地域のつながりに関する意識を高める必要があると考えられます。

問4 地域活動団体が活動を続けていく上で必要な支援〔複数回答〕

地域活動団体が活動を続けていく上で必要な支援については、団体等では「活動を行うための人材の育成」が最も高く、次いで、「活動に対する経費への補助」が続きます。また、市民では「活動に対する理解を得るための広報・周知活動」が最も高く、「人材の育成」が続きます。「活動を行う人と活動による支援が必要な人とのマッチングの仕組み」は、いずれの種別でも3位と高く、団体等の前回調査との比較でも10ポイント以上上昇しています。

こうした結果から、活動団体の支援として、特に「人材の育成」や「マッチングの仕組み」についての必要性が高まっていると考えられます。

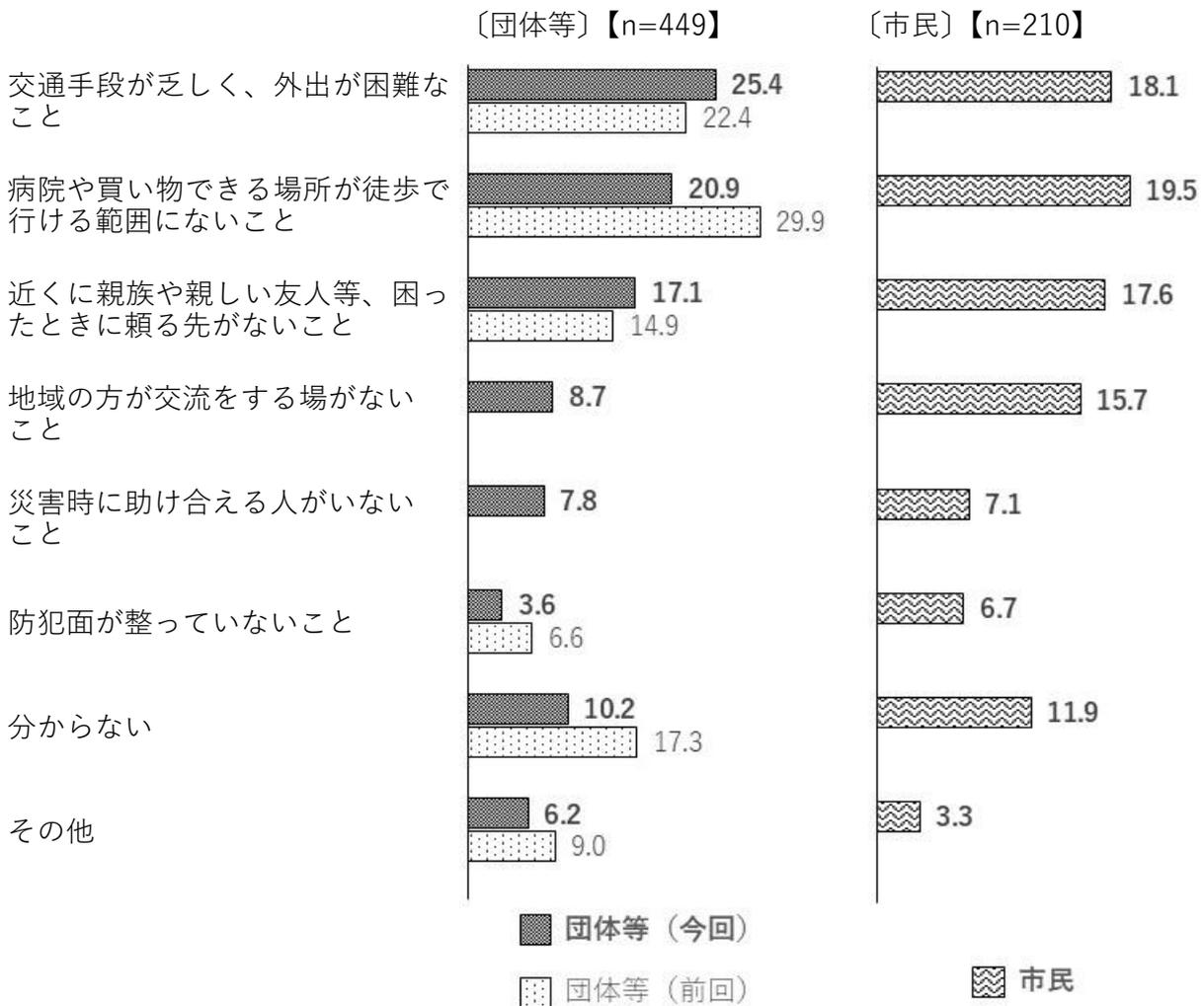


問5 介護や医療が必要になったとき、地域生活で一番不安なこと〔択一回答〕

介護や医療が必要になったとき、地域生活で一番不安なことについては、団体等では「交通手段が乏しく、外出が困難なこと」が、市民では「病院や買い物できる場所が徒歩で行ける範囲にないこと」が、それぞれ最も高くなっています。これらは団体等、市民の両方で1位、2位となっており、同じく「近くに親族や親しい友人等、困ったときに頼る先がないこと」は3位で続いています。また、市民では「地域の方が交流をする場がないこと」も比較的高くなっています。

団体等について、前回調査結果と比べると、選択肢の違いにより単純比較はできないものの、「病院や買い物できる場所が徒歩で行ける範囲にないこと」は相対的に下がっています。

こうした結果から、介護や医療を考えた場合の外出、通院などの生活支援面の不安を解消していくことが必要だと考えられます。

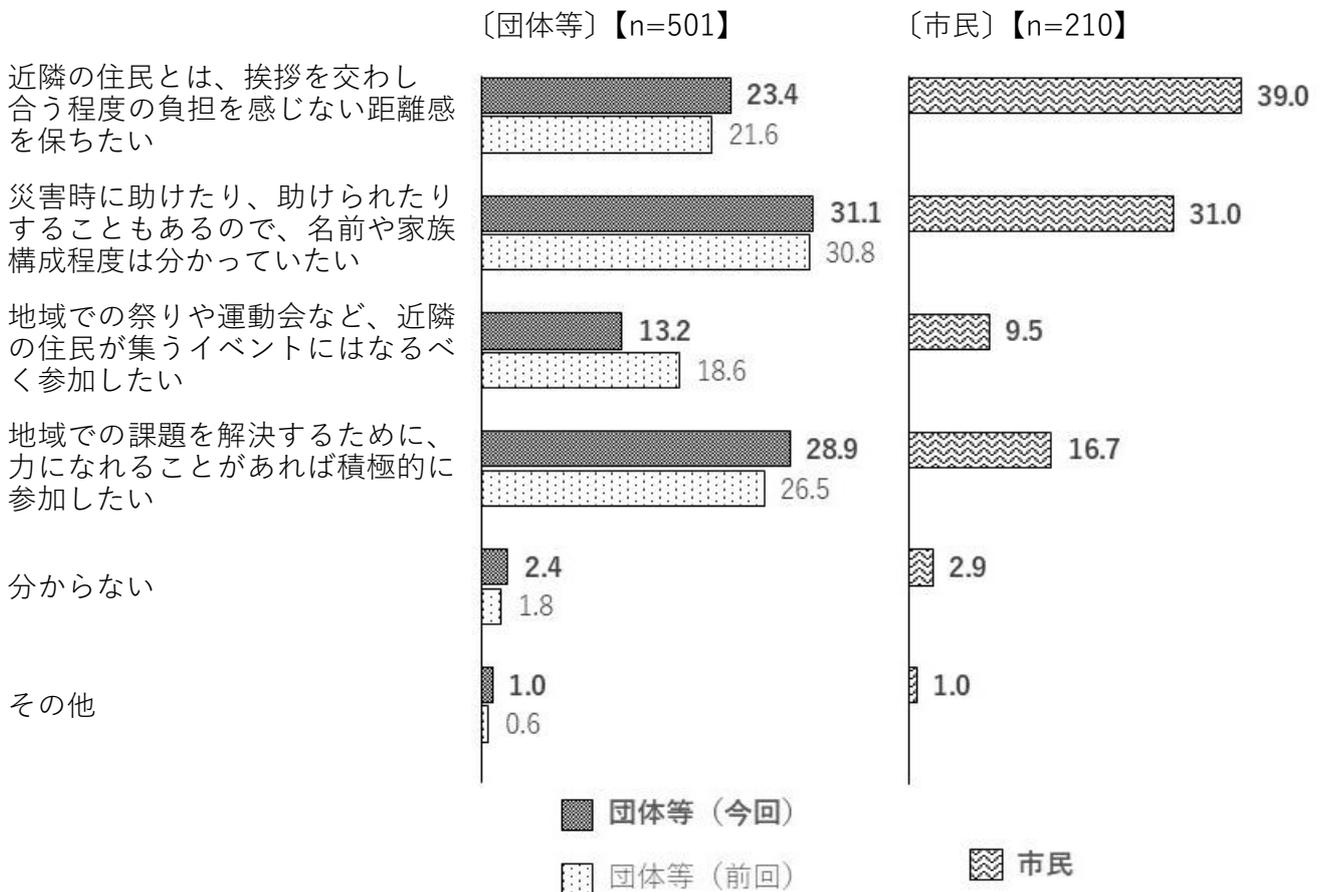


問6 地域の人びとの「つながり」のあるべき姿〔択一回答〕

地域の人びとの「つながり」のあるべき姿については、団体等では「災害時に助けたり、助けられたりすることもあるので、名前や家族構成程度は分かっていたい」が最も高く、次いで、「地域での課題を解決するために、力になれることがあれば積極的に参加したい」が続いています。一方、市民では「近隣の住民とは、挨拶を交わし合う程度の負担を感じない距離感を保ちたい」が最も高く、「名前や家族構成程度は分かっていたい」が続きます。団体等に比べると、市民は「イベントへの参加」や「課題解決への積極的参加」については低い結果となっています。

団体等について、前回調査結果と比べると、大きな傾向の変化はみられませんでした。

こうした結果から、活動団体に比べると低い「つながり」に対する市民の意識をいかに高めるかが課題だと考えられます。



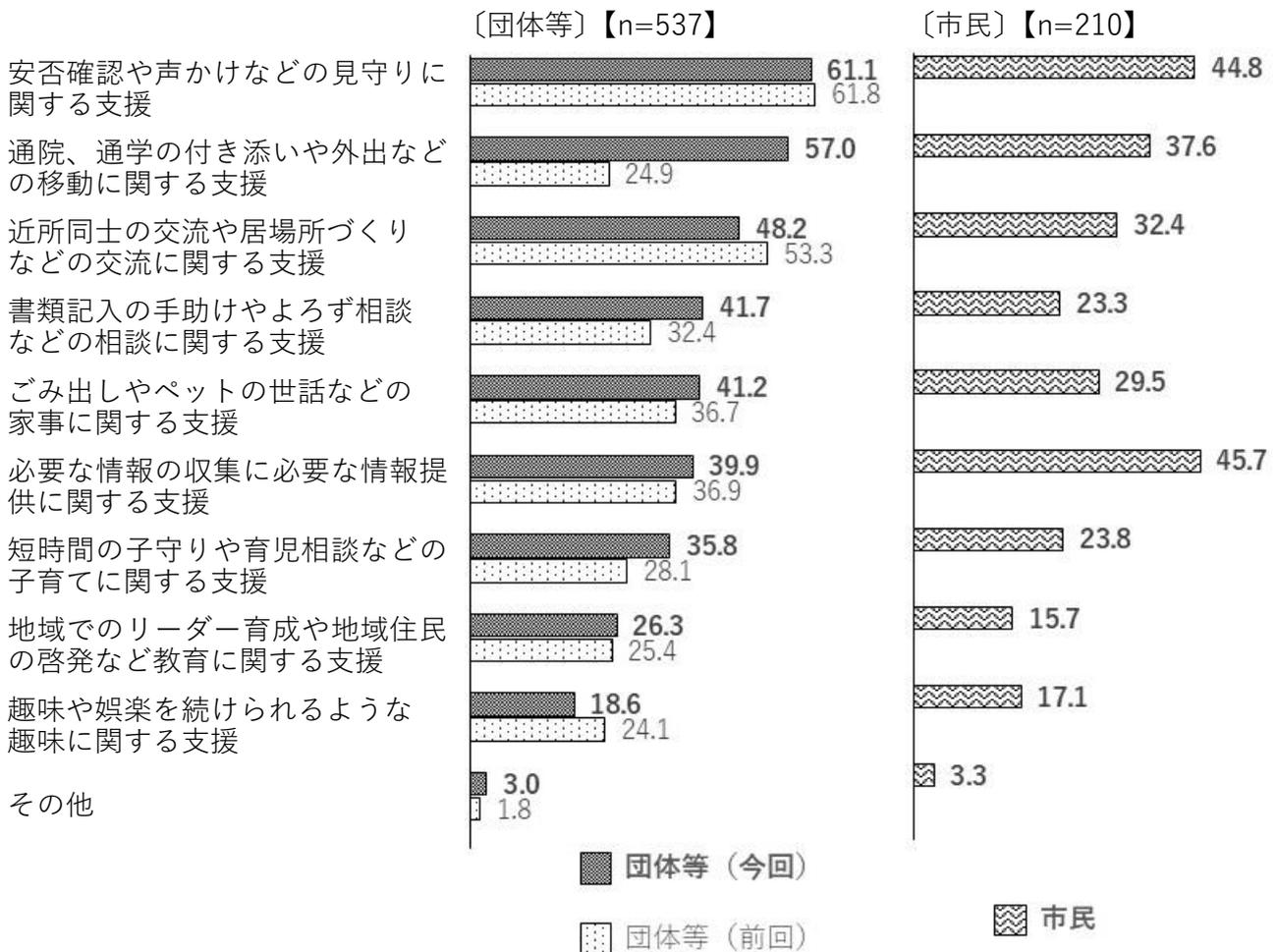
問7 あれば助かると思う地域での助け合い〔複数回答〕

地域で生活していく上で、あれば助かると思う地域での助け合いについては、団体等では「安否確認や声かけなどの見守りに関する支援」が最も高く、次いで、「通院、通学の付き添いや外出などの移動に関する支援」が続きます。また、市民では「必要な情報の収集に必要な情報提供に関する支援」が最も高く、「安否確認や声かけなどの見守りに関する支援」が続き、「見守りに関する支援」は団体等、市民の両方で高くなっています。

また、「書類記入の手助けやよろず相談などの相談に関する支援」や「近所同士の交流や居場所づくりなどの交流に関する支援」については団体等で高く、市民で低い結果となりました。一方で、「必要な情報の収集に必要な情報提供に関する支援」は市民で高く、団体等でやや低いという結果となりました。

団体等について、前回調査結果と比べると、「通院、通学の付き添いや外出などの移動に関する支援」は大きく上昇していますが、選択肢に「通院」が入ったことも一因と考えられます。また、「書類記入の手助けやよろず相談などの相談に関する支援」や「短時間の子守りや育児相談などの子育てに関する支援」についても上昇しており、必要性が高まっていると言えます。

こうした結果から、地域での助け合いとして、見守り、移動支援、交流に関する支援が引き続き必要とされており、加えて、生活面などの支え合いや情報提供などが求められていると考えられます。



問8 あなたが知っている地域活動で、特色のあるものがあれば、お書きください。

※記述内容からの意見分類の結果

分類項目	件数（件）
集いの場	65
生活支援	55
交流	39
見守り・支援	38
健康・予防	34
景観・美化	32
防災・安全	24
教育・子育て	23
自然・農業	15
歴史・文化	15
生活困窮	12
移動手段	7
その他	27

問9 その他、ご意見があれば、お書きください。

※記述内容からの意見分類の結果

分類項目（第4次計画の項目に合わせて分類）	件数（件）
相談体制の充実	8
情報提供体制の充実	17
人材の育成・発掘	53
地域福祉活動団体への支援	42
ボランティア活動支援	14
防災・防犯体制の支援	16
安心して生活できる仕組みづくり（見守り等）	51
自立して生活できる仕組みづくり（生活困窮、成年後見、再犯防止等）	17
バリアフリーの推進	7
生きがいを持って暮らせる地域づくり	17
地域の支え合いの場づくり	84
健全な運営への支援	—
良質なサービス提供のための支援	4
その他	49

《参考》アンケート配布機関・団体

(各団体の回答件数、全体に占める割合)

